

家族会議 (1936)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 76分

初公開日 1936/04/03

【解説】

横光利一の同名小説を池田忠雄が脚色し、島津保次郎が監督した恋愛ドラマ。及川道子の最後の出演作としても知られる。現在見ることができるのは、カットされた短縮版のみとされている。1954年に中村登がリメイク版を監督した。

東京・兜町で活躍する株屋の重住高之。大阪に住む仁礼泰子と恋仲だが、泰子の父親とは昔から因縁があり、彼女と結婚できずにいた。泰子の父も株の売買を生業としており、高之の父は彼のせいで破産し自殺に追い込まれたのだった。そして泰子の父は、今度は高之に大して熾烈な仕手戦を仕掛けてきた。

【クレジット】

監督 島津保次郎

原作 横光利一

脚本 池田忠雄

撮影 桑原昴

水谷至宏

美術 脇田世根一

編集 桑原昴

水谷至宏

出演 佐分利信

高田浩吉

志賀靖郎

藤野秀夫

水島亮太郎

河村黎吉

坂本武

斎藤達雄

及川道子

高杉早苗

桑野通子

立花泰子

鈴木歌子

飯田蝶子

小林十九二

山内光

野寺正一

若水絹子

河原侃二
日守新一
松井潤子
若葉信子
小藤田正一